2024 年度 第 1 回 団体連絡会 議事次第

1. 日　　時 ： 2024 年 6 月 21 日（金） 14：00～16：00

2. 開催形式 ： WEB 併用会議
対面出席 ：建産協 A・B 会議室（東京都中央区日本橋浜町 2-17-8）
WEB 出席 ：Zoom Meetings 利用

3. 内　容

（1） ご挨拶　一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会　専務理事　寺家克昌

（2） 演題

- 2023 年度事業報告、2024 年度事業計画について
  建産協　専務理事　寺家克昌

- 健康に資する建材・設備について
  建産協　リフォーム部長　駒　義人
  リフォーム推進委員会　制度検討部会　前部会長　若尾一夫

（3） 団体会員からのご報告・ご案内
一般社団法人環境共生まちづくり協会様
特定非営利活動法人日本健康住宅協会様

4. 建産協からのお知らせ

2024 年度 第 1 回団体連絡会開催報告

2024 年 6 月 21 日(金)に本年度第 1 回団体連絡会がオンライン併用で開催された。今回は建産協のリフォーム推進委員会 制度検討部会において、健康をキーワードに建材・設備についての指標づくりに取り組み、6/11 に建産協ホームページに公開した「健康に資する建材・設備」について、概要説明を行った。

通常は団体会員向けの講演であるが、企業会員にも関係の深い内容であるため、今回は全会員を対象とし 29 名(団体会員 20 名、企業会員 9 名)の参加があった。

寺家専務理事による主催者挨拶の後、寺家専務理事から 2023 年度事業報告及び 2024 年度事業計画のポイント」、建産協　駒リフォーム部長及び若尾前制度検討部会長による“建産協が考える「健康に資する建材・設備」”計 8 商材の、【選定のポイント】【性能リスト】【おすすめ製品リスト】の事例紹介などの概要説明が行われた。

● **「2023 年度事業報告及び 2024 年度事業計画のポイント」※**

建産協　専務理事　寺家克昌

● **「健康に資する建材／設備」について※**

建産協　リフォーム部長　駒 義人

建産協　前制度検討部会長　若尾一夫

団体連絡会は有用な情報提供の場、相互理解を深める情報交換の場、団体会員との連携を深める場として 2024 年度第 2 回・第 3 回は下記日時での開催を予定している。

【 2024 年度 団体連絡会 】

第 2 回　2024 年 9 月 20 日(金)　14：00 ～ 16：00

第 3 回　2025 年 1 月 24 日(金)　14：00 ～ 16：00

2023年度事業報告
2024年度事業計画
【概要版】

一般社団法人　日本建材・住宅設備産業協会

建産協の重点課題

■グリーン建材の国際標準化事業

省エネ・省資源型建材・住宅設備（グリーン建材）の海外市場拡大を目的とした、
①**国際標準（ISO、IEC）の開発**、
②**JIS等のアジア諸国への展開**
※経済産業省委託事業

■カタラボ事業

建材・住宅設備の**デジタルカタログ検索サイト「カタラボ」**の運営

■IoT住宅の安全基準の国際標準化事業

住宅設備機器の連携システムの**安全基準（機能安全、SOTIF、協調安全）の国際標準（IEC）の開発**、普及基盤の構築
※経済産業省委託事業

■ZEH、断熱材の普及促進事業

中小工務店へのZEH普及支援、断熱リフォーム・優良断熱材の普及

■リフォーム推進事業

リフォーム市場活性化に資する**制度の検討・普及、政策要望**等

■品質・環境事業

ホルムアルデヒド・VOC発散の少ない建材、調湿建材、抗菌製品の登録・表示事業等建材・住宅設備の**環境課題への対応**

グリーン建材の国際標準化事業
①国際標準（ISO、IEC）の開発

2023年度事業報告

■「遮熱塗料の熱流計測法による日射侵入比測定法」の国際標準化
・技術的検証及び国内協議の必要性から、予備業務項目（PWI）に戻り、再調整

■「温水洗浄便座の性能評価方法」の国際標準化
・本規格の改訂及び技術仕様書の新規提案に向けて、検証試験やキーマン等との事前協議を実施

■「住宅用機械換気システムの設計・評価方法」の国際標準化
・新規提案が承認、作成原案（WD）を協議

■「自然太陽光を用いた窓・ドアの日射熱取得率の測定方法」の国際標準化
・ISO会議で新規提案をプレゼン、新規提案が承認

■「調湿建材」の国際標準化
・JIS骨子の作成を目指して検討

2024年度事業計画

■「遮熱塗料の熱流計測法による日射侵入比測定法」の国際標準化
・国内合意形成を経て、ISO会議で進捗状況を報告し、再度新規提案を目指す

■「温水洗浄便座の性能評価方法」の国際標準化
・本規格の改訂及び技術仕様書について、新規提案の承認を経て、委員会原案（CD）協議等への移行を目指す

■「住宅用機械換気システムの設計・評価方法」の国際標準化
・WD・CD協議を行い、国際規格案（DIS）への移行を目指す

■「自然太陽光を用いた窓・ドアの日射熱取得率の測定方法」の国際標準化
・WD協議を行い、CDへの移行を目指す

■「調湿建材」の国際標準化
・JIS原案作成の事前調査を実施

グリーン建材の国際標準化事業
②JIS等のアジア諸国への展開

2023年度事業報告

■JIS等のアジア諸国での国家規格化の技術支援

◆ベトナム
・ベトナム建築材料研究所（VIBM）に対して、JIS等の技術情報提供
窓ラベリング制度：エネルギー性能の計算方法
塗料：日射反射率の測定方法
水廻り製品：節水トイレ

◆インドネシア
・インドネシア国家標準化庁（BSN）等に対して、JIS等の技術情報提供
窓・ガラス：自然災害（台風、地震等）関係
塗料：腐食防食関係
水廻り製品：節湯水栓
・JISK5675（屋根用高日射反射率塗料）ベースの国家規格が制定を確認

◆他のアジア諸国への新規展開
・フィリピンBPSとWeb会議を実施（テーマ：高遮熱塗料規格開発）

2024年度事業計画

■JIS等のアジア諸国での国家規格化の技術支援

◆ベトナム
・VIBMに対して、JIS等の技術情報提供
窓ラベリング制度：エネルギー性能の計算方法
塗料：日射反射率の測定方法、耐候性塗料
・関係団体との連携拡大

◆インドネシア
・BSN等に対して、JIS等の技術情報提供
窓・ガラス：自然災害（台風、地震等）関係
塗料：日射反射率の測定方法
水廻り製品：節水トイレ
・関係団体との連携拡大

◆他のアジア諸国への新規展開
・行政との連携による新規支援国の開拓

グリーン建材事業のこれまでの成果

①国際標準（ISO、IEC）の開発

- 「**窓及びドアの熱性能－日射熱取得率の測定**」
  ISO発行（2017年）
- 「**木材・プラスティック再生複合材(WPRC)**」
  ISO発行（2018年）
- 「**塗膜の日射反射率の求め方**」
  ISO発行（2019年）
- **「温水洗浄便座の性能評価方法」**
  IEC発行（2022年）

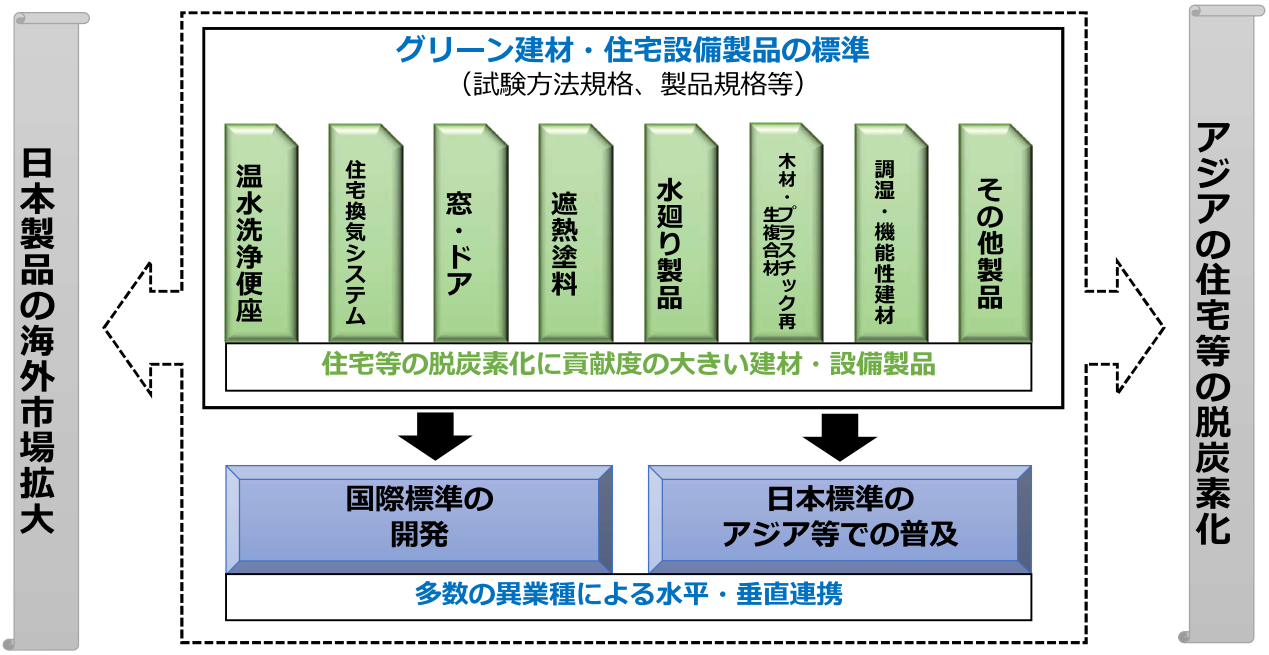
②JIS等のアジア諸国への展開

□**ベトナム**
- **JISK5675（屋根用高日射反射率塗料）**ベースの国家規格化が進行中

□**インドネシア**
- **JISA1493（窓及びドアの熱性能－日射熱取得率の測定）**ベースの国家規格が制定（2018年）
- **JISA5207（衛生器具－便器・洗面器類）**ベースの国家規格が制定（2018年）
- **JISK5675（屋根用高日射反射率塗料）**ベースの国家規格が制定（2022年）
- **JISA2103（日射計算法）**ベースの国家規格が作業レベルで完了

グリーン建材事業の今後の取組（2023年度～）

住宅・建築物の脱炭素化等に資する日本の良質なグリーン建材・住宅設備製品（省エネ・省資源型建材・設備製品）について、海外で適正に評価され市場での普及が促進される基盤を構築するために、各建材・設備製品及び住宅等の企業・業界団体等との異業種連携等を行いながら、①試験方法や性能評価方法等の国際標準化に取り組むとともに、②日本が主導・開発等を行った標準のアジア諸国等での導入・普及等を図る。



建材・住宅設備の標準化活動

背景：主要国・地域の企業が戦略的な行動を強める**国際的なルール形成競争の時代**

建材・住宅設備メーカー
経営戦略：「市場の創造」のためのオープン化戦略（＝標準化戦略）

工業会
業種ごとの標準化活動

標準化ニーズ ⇩ ⇧ 経営戦略支援

標準化ニーズ ⇩ ⇧ 標準化活動支援

建産協

グリーン建材の標準化事業

省エネ性能等に優れた日本の建材・住宅設備製品の海外市場開拓・拡大のために、標準化を戦略的に推進

◆建材・住宅設備メーカーの経営戦略・工業会の標準化活動のニーズと密接に連携
◆専門分野の学識経験者、試験・評価機関等と連携して標準開発等を実施

連携 ⇧

⇧ 連携

試験・評価機関
建材試験センター等

学識経験者

IoT住宅の安全基準の国際標準化事業

2023年度事業報告

■人とIoT住宅との協調安全に関する国際標準化事業

- 規格原案作成
- 新規提案に向けて予備業務項目(PWI)設置を協議
- CES2024を視察して情報収集

（自主事業）

- 日本提案の機能安全規格案、SOTIF規格案を国際標準化動向をフォロー
- 国内での普及基盤構築体制の検討

2024年度事業計画

■人とIoT住宅との協調安全に関する国際標準化事業

- 規格原案のブラッシュアップ、ユースケース開発・分析
- 国際会議参加等を通じた新規提案への合意形成

（自主事業）

- 機能安全規格案、SOTIF規格案の国際標準化動向をフォロー
- 国内での普及基盤構築体制の検討

IoT住宅に関する安全の標準化について

標準化種別	概要
機能安全 Functional safety	システム故障への対応 ＊IEC63168として国際議論中（2023年国際標準化見込）
SOTIF Safety of the intended functionality	ユーザーのミスユース、 設計開発者が想定していない使われ方への対応 ＊IEC63420として国際議論中（2024~25年標準化を目指す）
協調安全	人・機械・環境を協調させて安心・安全な住空間を確立する （人：ユーザー、機械：IoT住設機器や建材、環境：住環境、ユーザーデータ） ＊2024年にIECに新規提案予定として活動中

協調安全の標準化で期待される効果

人（ユーザー）と機械（IoT住設機器、建材）と環境（住環境、生活データなど）を協調させて、住宅内での不慮の事故を未然に防ぐなどユーザーの安全性を高めてQOLを向上させることが期待できる。

リフォーム推進事業

2023年度事業報告

■**制度検討**
- 「健康に資する建材・設備」として、「外皮4商材」「設備4商材」の評価基準・製品リストを作成
- 「住宅の燃費」を見直し・公表

■**規制改革**
- 政策・運用改善の要望書をとりまとめ、経産省・国交省・環境省に要望
- 公的支援策のリーフレット（2023年度版）を作成

■**普及啓発**
- 公的支援策の紹介動画を制作・公開

■**マンション省エネ改修推進**
- セミナー開催・動画公開
- 自治体（東京都等）主催展示会に出展

2024年度事業計画

■**制度検討**
- 「健康に資する建材・設備」の評価基準・製品リストの普及活動を実施

■**規制改革**
- 政策・運用改善の要望書をとりまとめ、経産省・国交省・環境省に要望
- 公的支援策のリーフレット（2024年度版）を作成

■**普及啓発**
- リフォーム推進委員会活動全般の普及啓発を実施
- 新規普及啓発施策を検討

■**マンション省エネ改修推進**
- 普及広報用冊子を改訂
- セミナー開催
- 自治体主催展示会に出展

「健康に資する建材／設備」の基準づくり

■趣旨

・人は90%の時間を室内で過ごしており、住環境が重要な健康要素

・コロナ禍によって、消費者の健康や暮らしの安心・安全のニーズは一層高まっている

・他方で、建築分野でも健康住宅の定義は定まっておらず、それを構成する建材・設備の定義もない

・この「ものさし」を作ることにより、消費者ニーズに対応した商品の提供に寄与

■評価項目

「温熱環境」「空気環境」「光視環境」「音振動環境」
「安全対策」「快適環境」「清潔環境」

■検討状況

第１弾として
建材編：❶窓（サッシ）❷窓（ガラス）❸内窓❹断熱材
設備編：❺トイレ❻バスルーム❼洗面台❽キッチン
の評価基準（性能・仕様・機能基準）と推奨製品リストを作成・公表

『健康に資する建材・設備』の要素		
温熱	温熱環境	快適な室内温度を維持できる断熱性能/遮熱性能があること
空気	空気環境	きれいな空気品質に影響しない素材であること
光	光視環境	自然光の積極的活用や眩しさに配慮されていること
音	音環境	静かな住空間となる遮音性能があること
安全	安全対策	身体負荷軽減の配慮がなされていること
快適	快適環境	心地よさ・安らぎを実現できる機能があること
清潔	清潔環境	衛生的な状態を維持できる形状・素材・機能があること

健康に資する窓(サッシ) <性能リスト>

<求められる性能>
室内の温熱環境を保持でき、カビ・ダニ等のアレルゲンの発生を抑え、新鮮な空気の入れ替えや、静かでやすらげる居住空間を実現できるもの。

要素	温熱	空気	音
キーワード	あたたかい室内	きれいな空気	静かさ
仕様・性能・機能	ZEH基準熱貫流率（6地域2.33以下） 【断熱性能】JIS A4706（H５等級） 【気密性能】JIS A4706（A４等級）	ZEH基準熱貫流率（6地域2.33以下） 【断熱性能】JIS A4706（H５等級） 【気密性能】JIS A4706（A４等級） 換気ができる開閉機能	【遮音性能】・JIS A4706（T2等級）
必須			
任意			

健康に資する窓(ガラス) 性能リスト

<求められる性能>
室内の温熱環境を保持でき、カビ・ダニ等のアレルゲンの発生を抑え、新鮮な空気の入れ替えや、静かでやすらげる居住空間を実現できるもの。

要素	温熱	空気	光 音	安全
キーワード	あたたかい室内	きれいな空気	明るさ・静かさ	安全・安心
仕様・性能・機能	断熱機能 【断熱性能】 ZEH基準（開口部 窓） 1-3地域 1.90W/㎡・K 4-8地域 2.33W/㎡・K を満たすサッシとガラスの組合せ	アレルゲン発生抑制機能 【断熱性能】 ZEH基準(開口部 窓) 1-3地域 1.90W/㎡・K 4-6地域 2.33W/㎡・K を満たすサッシとガラスの組合せ	採光機能 遮音機能 【遮音性能】 サッシ JIS A 4706 遮音等級T-2相当	飛散・脱落防止機能（防犯、防災機能も付加可能） 【耐衝撃性能】 合わせガラス JIS R 3205 ショットバッグ試験 Ⅰ-1級、Ⅱ-2級、Ⅲ級相当
必須				
任意				

健康に資する内窓 性能リスト

<求められる性能>
室内の温熱環境を保持でき、カビ・ダニ等のアレルゲンの発生を抑え、新鮮な空気の入れ替えや、静かでやすらげる居住空間を実現できるもの。

要素	温熱	空気	音
キーワード	あたたかい室内	きれいな空気	静かさ
仕様・性能・機能	既設外窓と内窓の間の空気層の確保ができる設置 Low-E複層ガラスとの組み合わせ	断熱性能の高い素材の枠・障子を採用していること	既設外窓と内窓の間の空気層の確保ができる設置 遮音性能の高いガラスとの組み合わせ
必須			
任意			

健康に資する断熱材 性能リスト

<求められる性能>
健康的な室内の温熱環境を保持でき、有害な物質を室内に発散しないもの。また表面結露を防止し、カビやダニなどのアレルゲンの発生を抑えることができるもの。

要素	温熱	空気
キーワード	あたたかい室内	きれいな空気
仕様・性能・機能	断熱誘導基準（仕様基準）のR値以上であること（６地域木造軸組 壁充填2.7以上）	ホルムアルデヒド発散等級 F☆☆☆☆
必須		
任意		

健康に資するトイレ 性能リスト

<求められる性能>
冷たさ感の軽減、清潔性の維持、快適性・安全性への配慮機能を併せ有するもの。

要素	温熱	空気	光	安全	快適	清潔
キーワード	つめたくない 冬あたたかい			安心して使える		衛生面の配慮がある
仕様・性能・機能	暖房便座 ・高圧持続たき感の軽減 （暖房機器を室内に置く） ・ヒートショックの軽減	脱臭機能 ・トイレ空間の空気環境の快適性維持	補助照明機能 ・夜間使用時等の暗しさ、眩きを抑制	手すり ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上	温水洗浄機能（洗浄モード選択機能） ・使用時の快適性の向上	便フタオート開閉 ・非接触操作で清潔 清掃しやすい形状 ・清掃容易、家事負担軽減 便フタ閉止後洗浄 ・非接触操作、飛散防止で清潔 除菌水散布機能 ・汚れがつきにくく清掃容易、家事負担軽減
必須						
任意						

健康に資するバスルーム 性能リスト

<求められる性能>
ヒートショック軽減、清潔性の維持、快適性・安全性への配慮機能を併せ有するもの。

要素	温熱	空気	光	安全	快適	清潔
キーワード	冬あたたかい			安全面の配慮がある		清潔に保つ
仕様・性能・機能	暖房機能(暖房乾燥機など) ・ヒートショックの軽減 つめたくない床 ・ヒートショックの軽減			手すり(握りバー、グリップなど) ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上 すべりにくい床 ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上	水流機能(ジェット噴流、気泡放出、オーバーヘッドシャワーなど) ・使用時の快適性の向上(癒し、潤い、爽快感) ミスト付き暖房換気乾燥機 ・使用時の快適性の向上(癒し、潤い、爽快感)	清掃しやすい排水口 ・清掃容易、家事負担軽減 汚れが落としやすい床 ・清掃容易、家事負担軽減 除菌水散布機能 ・汚れがつきにくく清掃容易、家事負担軽減
必須						
任意						

健康に資する洗面台 性能リスト

<求められる性能>
清潔性の維持、清掃の容易性を併せ有するもの。

要素	温熱	空気	光	安全	快適	清潔
キーワード	寒あつない 冬あたたかい			安全面の配慮がある		清潔に保つ
仕様・性能・機能	（暖房機器を室内に置く） ・ヒートショックの軽減	化学物質の発生が少ない木質建材部分 ・ホルムアルデヒド発散等級 F☆☆☆☆ 及び4VOC基準適合品		手すり(握りバーなど) ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上 ボウル高さ選択可能 ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上		タッチレス水栓 ・非接触操作で清潔 清掃しやすい排水口、ボウル形状 ・清掃容易、家事負担軽減 除菌水散布機能 ・汚れがつきにくく清掃容易、家事負担軽減 タッチレス照明スイッチ ・非接触操作で清潔
必須						
任意						

健康に資するキッチン 性能リスト

<求められる性能>
使用時の動作・姿勢等への配慮、清潔性の維持機能を併せ有するもの。

要素	温熱	空気	光	安全	快適	清潔
キーワード				同側とコミュニケーションしやすい楽な姿勢で使える		掃除がしやすい
仕様・性能・機能		化学物質の発生が少ない木質建材部分 ・ホルムアルデヒド発散等級 F☆☆☆☆ 及び4VOC基準適合品		対面型レイアウト ・子どもの見守り容易化 カウンター高さ選択可能 ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上	浄水等機能(浄水器、殺菌水素水生成器など) ・飲用時の快適性の向上	タッチレス水栓 ・非接触操作で清潔 手間軽減レンジフード ・清掃頻度が少なく、家事負担軽減 清掃しやすい排水口、シンク形状 ・清掃容易、家事負担軽減 除菌水散布機能 ・汚れがつきにくく清掃容易、家事負担軽減 除菌機能付き食器洗い乾燥機 ・除菌効果で清潔
必須						
任意						

令和５年度既存住宅リフォーム市場における予算・制度改正等に関する要望

要望事項	要望先省庁
◆２０５０年カーボンニュートラル実現に向けた要望	
・住宅ストックの省エネ改修に関する今後の方向性について	国交省
・住宅の性能基準に係る定期的かつ段階的な適合義務化の導入	経産省・環境省
◆予算・税制等に関する要望	
・「こどもエコすまい住宅支援事業」における要件改善について	国交省
・太陽光発電設置を伴う省エネリフォーム時に合わせて実施する耐震改修に対する支援対要件について	国交省
・子育てに対応したリフォームへの減税制度の適用（所得税）	国交省
・水廻り製品の設置工事への減税制度の適用（所得税）	国交省
・次世代省エネ建材の実証支援事業の申請方法について	経産省・環境省
・省エネ改修工事関連補助事業の実施期間の検討	経産省
・省エネに寄与する給湯・水回り関連設備交換に対する助成施策の検討	経産省・環境省
・「先進的窓リノベ事業」における要件改善について	環境省
・既存住宅のＺＥＨ化支援に関して	環境省
◆リフォーム事業者への支援に関する要望	
・各種支援制度への申請作業のオンライン化の推進	国交省・経産省・環境省
・住宅リフォーム事業者団体登録制度の活用による団体所属事業者活性化の推進	国交省
◆表示・制度等に関する要望	
・消費者にわかりやすい高性能建材の表示制度等の周知促進	国交省・経産省
◆普及啓発に関する要望	
・「住宅の燃費」の普及啓発に関する支援	国交省・経産省・環境省

カタラボ事業

2023年度事業報告

■カタラボ事業の運営

- 会員企業との接点の維持・強化：座談会、ヒアリングを実施
- 利用者の維持・拡大：カタラボ利用実態・満足度調査を実施
- 新規入会の促進：問合せ企業にアプローチ

項目	2024年3月実績	前年同月実績	対前年比（%）
総会員数	276	283	97.5
掲載カタログ数	3,105	2,902	107.0
掲載ページ数	353,940	336,630	105.1
月間利用回数	3,935,947	3,632,582	108.4

2024年度事業計画

■カタラボ事業の運営

- 機能・サービスの新設・改善：新たな閲覧ログの提供、トップページ見直し、検索機能の改善等を実施
- 新規入会の促進：広報・広告出稿策等を検討

ZEH、断熱材の普及促進事業

2023年度事業報告

■ZEHの普及
・「ZEHのつくり方」・「製品リスト」を改訂・公表
・自治体主催セミナーに講師派遣

■断熱材の普及
◆断熱リフォームの普及
・断熱リフォームの実体験コラムをHP公開
・屋根・天井部位の施工動画を作成・公開
・「JapanHome&BuildingShow2023」でセミナー開催

◆優良断熱材（EI）認証事業
・EI認証事業の運営
更新5件　＊累計18社80製品
・新規断熱材における審査要綱改訂

「ZEHのつくり方」
ZEH基準に適合する開口部、断熱材、設備の組み合わせの仕様を紹介したテキスト

「製品リスト」
「ZEHのつくり方」で示した開口部、断熱材、設備の仕様に適合する製品を紹介する付属書

2024年度事業計画

■ZEHの普及
・「ZEHのつくり方」を必要に応じて改訂
・自治体主催セミナーに講師派遣

■断熱材の普及
◆断熱リフォームの普及
・普及広報ツールの作成等を検討

◆優良断熱材（EI）認証事業
・EI認証事業の運営
更新5件　＊累計18社77製品

品質・環境事業

2023年度事業報告

■環境課題への対応
・国内外の化学物質規制の整理：対象化学物質リストを作成中
・令和4年度VOC排出量の集計結果を経産省に報告
・VOC登録表示事業の運営、表示規程を改訂
ホルムアルデヒド：新規58件＊累計139社1594件
４VOC　　：新規40件＊累計48社725件
・エチルベンゼンの指針値改定に対応

■抗菌製品
・登録表示事業の運営
更新15件　＊累計7社50件

■調湿建材
・登録表示事業の運営
追加1件、更新14件　＊累計16社29件
・調湿建材解説ページを刷新・HP公開

■クリーンウッド法改正対応
・改正法の施行に向けて、情報収集、関係省庁ヒアリングへの対応、経産省協議会への出席・意見表明等を実施

2024年度事業計画

■環境課題への対応
・国内外の化学物質規制の整理：対象化学物質リストを作成
・令和5年度VOC排出量の集計・報告
・厚労省・室内空気質指針値改定を踏まえ、4VOC審査表示規程の改訂や既登録品の移行登録手続き等を検討

■抗菌製品
・登録表示事業の運営
・本事業の今後の方向性を検討

■調湿建材
・登録表示事業の運営

■クリーンウッド法改正対応
・対象物品の追加について、情報収集、運用形式の検討を行い、「クリーンウッド法運用ガイド」を改正

標準化推進事業

2023年度事業報告

■**JIS**

◆**「住宅屋根用化粧スレート」JISの改正**
・JIS原案作成公募制度に申請、改正原案の作成

◆**「建築用真空断熱材」JIS、「アクセシブルデザイン－住宅設備機器」JISの普及**
・「アクセシブルデザイン」について連載企画を建産協通信、建産協情報に掲載

■**木材・プラスチック再生複合材（WPRC）**

◆**国際標準の普及**
・ISOの国際会議、アセアン標準化･品質管理諮問評議会(ACCSQ)等の場でWPRCのISO規格をPR、採用を働きかけ

◆普及促進
・エコリーフ認定取得支援のため、会員企業への説明会実施

2024年度事業計画

■**JIS**

◆**「住宅屋根用化粧スレート」**
・改正JISを周知

◆**「建築用真空断熱材」**
・必要に応じてJISの改正、普及施策を検討

■**木材・プラスチック再生複合材（WPRC）**

◆**普及広報、多回(水平)リサイクルの推進**
・WPCR製品のCO2排出抑制効果を調査、結果をHPに掲載
・多回(水平)リサイクルの観点からWPRCJISの見直しを検討

◆国際標準の普及
・ISO規格の国家規格への採用を働きかけを実施

調査・広報事業

2023年度事業報告

■**調査統計**
・「2023/2024年版建材・住宅設備統計要覧」を発刊

■**技術・景観**
・Bridge見学会(「ITOKITOKYOXORK」)を実施
・「カタラボの商品情報に誘導する景観材料の紹介コンテンツ」をHP掲載

■**広報**
・情報誌「建産協情報」をリニューアル発刊
・メールマガジン「建産協通信」の配信（月2回）
・協会HPをリニューアル
・報道関係者との情報交換会を開催（7月、12月）

2024度事業計画

■**調査統計**
・「2024/2025年版建材・住宅設備統計要覧」発刊

■**技術・景観**
・Bridgeセミナー・見学会開催

■**広報**
・情報誌「建産協情報」発刊
・メールマガジン「建産協通信」配信（月2回）
・報道関係者との情報交換会開催（7月）

その他の重要な活動

2023年度事業報告

■**建築BIMへの対応**
- 「建築BIM検討会議」において、「窓」「住設製品」に加え、「素材製品（ガラス、断熱材、ボード類）」のBIM属性情報を整理
- 国交省・建築BIM推進会議BIM標準化タスクフォースと協議

■**物流課題への対応**
- 「物流課題検討会議」を設置し、
  ①「物流対策自主行動計画」を策定
  ②「納品条件適正化に向けたガイドライン案」を作成
  →「フィジカルインターネット実現会議建材・住宅設備WG」（事務局：経産省）で承認

■**「協力企業との適正取引の推進に向けた自主行動計画」の改定等**
- 中小企業政策審議会における指摘等を踏まえ、自主行動計画の改定・「徹底プラン」の策定を実施

2024年度事業計画

■**建築BIMへの対応**
- BIM属性情報について、国交省・建築BIM推進会議BIM標準化タスクフォース等と協議し、対応を検討
- 建材・住宅設備メーカーへのBIMに関する情報提供、普及啓発を実施

■**物流課題への対応**
- 「フィジカルインターネット実現会議建材・住宅設備WG」の各タスクフォースに参画（「商習慣タスクフォース」、「共同輸配送タスクフォース」は事務局を担当）
- 「物流課題検討会議」において対策を検討

■**「協力企業との適正取引の推進に向けた自主行動計画」の普及啓発**
- 会員に対して自主行動計画を普及啓発

建産協・物流対策自主行動計画について

【経緯】

●「物流の2024年問題」を控え、昨年6月、政府は、抜本的・総合的な物流対策として、「物流革新に向けた政策パッケージ」を策定・公表。

●この中で、業界団体等が「業界・分野別の自主行動計画」を作成・公表することが打ち出された。

➡ **建産協として、物流対策自主行動計画を策定・公表（2023年12月）**

※政府が公表した「物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン」を参考とし、業界特性等を踏まえつつ、「物流課題検討会議」において議論の上、策定。

【自主行動計画の概要】

■**発荷主事業者・着荷主事業者に共通する取組事項**
- 荷待ち時間・荷役作業等にかかる時間の把握
- 荷待ち時間・荷役作業等時間２時間以内ルール
  荷待ち・荷役作業等の時間を2時間以内とする(1時間以内を努力目標)
- 物流管理統括者の選定
  物流業務を統括管理する者（役員等）の選定
- 運送契約の書面化
- 荷役作業等に係る対価
  運転者の荷役作業等の料金を支払う者の明確化、適正な料金の支払い
- 運賃と料金の別建て契約
  運送の対価である「運賃」と役務等の対価である「料金」の別建てを原則

■**発荷主事業者としての取組事項**
- 出荷に合わせた生産・荷造り等
- 運送を考慮した出荷予定時刻の設定

■**着荷主事業者としての取組事項**
- 納品リードタイムの確保

■**業界特性に応じた独自の取組**
- 業界ガイドラインの作成等
- 取引先等の業界への働きかけ等

「納品条件適正化に向けたガイドライン」について

【経緯】

●建材・住宅設備物流の効率化・適正化を図るためには、従来の商習慣や納品条件を見直すことが必要との観点から、建材・住宅設備のサプライチェーン関係者間の共通の指針となるものとして、本ガイドラインを策定。

●建産協「物流課題検討会議」において案を作成し、「フィジカルインターネット実現会議建材・住宅設備WG」（事務局：経産省・国交省）で了承された（本年2月）。
※上記WGの委員団体：日本建材・住宅設備産業協会、キッチン・バス工業会、日本サッシ協会、全国住宅産業地域活性化協議会、全日本トラック協会、住宅生産団体連合会、JBN・全国工務店協会、日本建設業協会

【ガイドラインの概要】

■荷待ち・荷役作業等にかかる時間の短縮・効率化

・荷渡し条件の適正化・明確化
荷渡し条件は車上渡しを基本とする。リフトでの受け渡しができる荷姿とする。

・現場との情報連携
現場情報は出荷日の前日までに発荷主事業者、着荷主事業者の間にて共有を進める。

■運行効率の向上

・納品時間帯の適正化
納品時間指定の必要性について予め確認し、着荷時間指定の緩和や納品時間帯の調整を進める。

・受注リードタイムの確保
受注リードタイムの見直しにより、荷主事業者や物流事業者の準備時間を充分に確保する。

・納品リードタイムの確保
納品リードタイムの見直しにより、荷主事業者や物流事業者の準備時間を充分に確保する。

・発送量の適正化
繁閑差の平準化や納品日の集約を通じて発送量を適正化する。

・モーダルシフト活用によるトラック輸送距離の短縮
長距離輸送におけるモーダルシフトの検討に取り組む。

■対価の適正化

・運送契約における配送と荷役の分離
運送契約における配送と荷役を分離し、荷役作業等に係る適正な料金を対価として支払う。

「協力企業との適正取引の推進に向けた自主行動計画」の改定等

●本年1月から300名に増員した下請Ｇメンのヒアリング成果を、業種ごとの課題・改善事項にまとめ、各業界団体に指摘。各業界団体の取引適正化に係る自主行動計画の改定等につなげる。

【中小企業政策審議会　取引問題小委員会（3月17日）】自主行動計画策定の業界団体（約50）に対し、下請Ｇメンが収集した取引情報（約1万件）に基づき、**業種ごとに、取引上の課題を指摘**

●これらの指摘等を踏まえ、**担当省庁から業界団体に対し、①自主行動計画の改定、**②業界・個社が同計画を遵守・徹底するための**「徹底プラン」の策定、を要求**

↓

建産協・自主行動計画の改定、「徹底プラン」の策定

その他の活動

2023年度事業報告

■政府の審議会等への参画

◆ZEHフォローアップ委員会（経済産業省）

◆省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム（東京都）

◆ゼロカーボンビル推進会議
データベース検討SWG
((一社)日本サステナブル建築協会)

■団体連絡会の開催
３回開催（6月、9月、1月）

■定時総会（6月8日）
理事会（5月17日、10月19日、3月15日）
理事懇談会（5月17日）

■経済産業省幹部（製造産業局長ほか）と正副会長との意見交換会の実施

2024年度事業計画

■政府の審議会等への参画

◆ZEHフォローアップ委員会（経済産業省）

◆省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム（東京都）

◆ゼロカーボンビル推進会議
データベース検討SWG
((一社)日本サステナブル建築協会)

■団体連絡会の開催

■定時総会、理事会等

建産協

2024年度 第1回 団体連絡会

『健康に資する建材・設備』 HP掲載の紹介

2024年6月21日

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

はじめに

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

建産協が考える『健康に資する建材・設備』第一弾をホームページに掲載

リフォーム推進委員会 制度検討部会において、
健康をキーワードに、建材・住宅設備についての指標となるべく、
建材4商材（サッシ、硝子、内窓、断熱材）、
設備4商材（トイレ、バスルーム、洗面台、キッチン）
の計8商材を、『健康に資する建材・設備』の第一弾として、ホームページ上に6/11掲載しました。

当協会の会員メーカーがおすすめする、省エネ・快適な生活から、
健康に繋がると考える商材をHPに掲載することにより、
リフォーム会社様等の業者様やお施主様の
リフォームにおける商材の選定につながる様な資料として活用いただけるよう、
推進していきたいと考えています。
今後も引き続き、商材の追加を図ってまいります。

【掲載ページはこちら】
建産協ホームページ ＞ お役立ち情報 ＞ 制度検討部会
＞ 建産協が考える健康に資する建材・設備
URL：https://www.kensankyo.org/healthmaterial/

取り組み過程

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

リフォーム推進委員会
制度検討部会　23年度メンバー(敬称略)

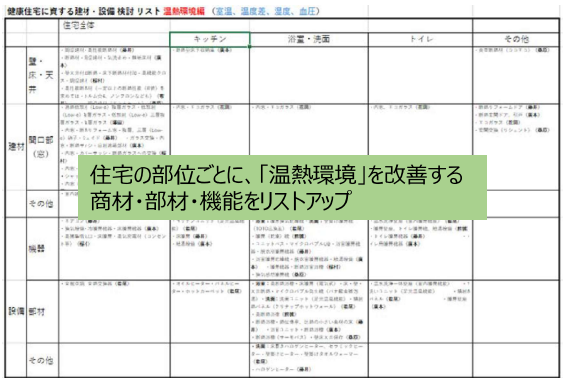
部会長	若尾　一夫	パナソニックハウジングソリューションズ株式会社
副部会長	厲本　真章	三協立山株式会社　三協アルミ社
委員	布井　洋二	旭ファイバーグラス株式会社
委員	小沢　幸三	AGC株式会社
委員(～2022年度)	花岡　頃行	AGC株式会社
委員	大本　英雄	セントラル硝子株式会社
委員	前橋　信之	ＴＯＴＯ株式会社
委員	稲村　勝章	ミサワホーム株式会社
委員	黒田　貴志	株式会社ＬＩＸＩＬ
委員(～2022年度)	桑原　秀紀	株式会社ＬＩＸＩＬ
委員(～2022年度)	藤井　文徳	株式会社ＬＩＸＩＬ
事務局	駒　義人	(一社)日本建材・住宅設備産業協会
事務局(～2022年度)	中西　淳二	(一社)日本建材・住宅設備産業協会

❶様々な勉強からスタート

・各部位の基準の勉強
- ・日本健康住宅協会の温熱環境評価書
- ・エコガラスの基準
- ・優良断熱材認証制度
- ・BL製品リスト・ガイド
- ・開口部の基準
- ・LEED、WELL基準
- ・建材の認定制度
- ・住宅会社の「ウェルネスリフォーム」の取組み

等の勉強を通じ、「健康に資する建材・設備」の基準を、部会で検討開始

❷住宅の室温や温度差が健康に影響することを皮切りに、まずは「温熱環境」改善のための建材・設備リストを、部会メンバーで検討開始



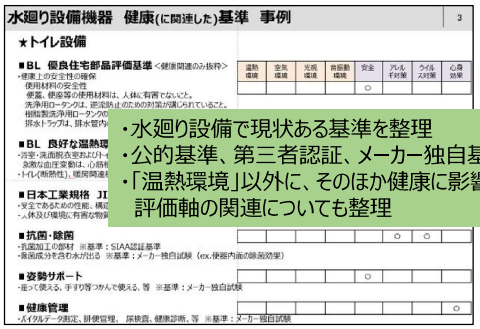
住宅の部位ごとに、「温熱環境」を改善する商材・部材・機能をリストアップ

各部材・機能ごとに、「温熱環境」に関する基準をリストアップ

取り組み過程

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

❸「温熱環境」以外の基準を整理



- ・水廻り設備で現状ある基準を整理
- ・公的基準、第三者認証、メーカー独自基準まで整理
- ・「温熱環境」以外に、そのほか健康に影響する評価軸の関連についても整理

❹健康・資する建材・設備のコンセプト

健康に資する建材・設備の意義

日本では医療分野での「健康」の要素に「住環境」はないが、人は90%の時間を室内で過ごしており、住環境が重要な健康要素であることは明確である。一方建築分野でも健康住宅の定義は定まっておらず、よってそれを構成する建材・設備の定義もない。この「ものさし」を作ることが健康な日本を実現するために寄与するはずである。

健康に資する建材・設備とは

「健康に住み続ける事の出来る"性能"や"機能"を備え、住む人が健やかな住まい方をしている住宅」に資する建材・設備とする。
具体的には**下記の6つの健康ファクターにおいて単独、もしくは組み合わせることで一定水準以上の性能が出せる建材・設備**のこととする。

①温熱環境
②空気環境(汚染物質、アレルゲン対策)
③光・視環境、音振動環境
④安全対策
⑤ウェルネス効果
⑥新たな日常(ニューノーマル対応)

❺各商材ごとに、6つの健康ファクターに関する基準をリストアップ

- ・**建材**(窓サッシ、ガラス、断熱材)は、**性能基準を中心**に検討
- ・**水廻り設備**(トイレ、バスルーム、洗面、キッチン)は、数値で示す性能基準があまりないため、**製品機能を中心**に健康に資する設備の基準にあてはめていくこととする

取り組み過程

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

❻各商材ごとに、健康設備の規準づくりを整理推進

・基準は、メーカー間の『最大公約数』を目指す
・基準の分類化をする(各メーカー共通項、メーカー特有項、その他)
・一般ユーザー目線もふまえる(効果をわかりやすく表現する、等)

＋

➡ 作成してきた左の基準表は、健康に使えるおすすめ製品の内容になってきており、製品リストともとらえられる
➡ **健康設備とは何かという定義や性能リストを別途追加へ**

	温熱環境	空気環境 ・汚染物質 ・アレルゲン対策	光視環境 音振動環境	安全対策	ウェルネス効果	新たな日常 ・ニューノーマル対応
定義 ?	・寒さ、冷たさに対応	・衛生面に配慮	・補助的な照明機能	・安心感	・使用時の快適性	・衛生面に配慮 ・健康サポート
効果	①室内を温める ②触れる箇所を温める、冷たくない	①ニオイ脱臭 ②カビ菌、ウイルス抑制 ③跳ね散り抑制	①夜間に覚醒しない	①停電時に使用可 ②立ち座りサポート ③誤使用防止	①排便促進 ②排便時の音消し ③リラックスミュージック	①非接触 ②飛散抑制 ③清掃しやすい ④汚れにくい ⑤菌、ウイルス抑制 ⑥IoTで健康チェック
仕様・性能・機能	①室内暖房 ②便座暖房	①脱臭 ②イオン脱臭 ③水面を泡でガード	①補助照明、間接照明	①停電でも水が流せる ②手すり、アームレスト ③チャイルドロック	①おしりシャワーの出方 ②マスキング音 ③リラックス音楽再生	①便フタオート開閉 ②便フタ閉止後洗浄 ③スキマなし、スキマ汚れ対応、継ぎ目なし ④はっ水素材 ⑤除菌水、オゾン水、イオン水散布機能、抗菌素材 ⑥スマホ連携アプリで健康チェック

取り組み過程

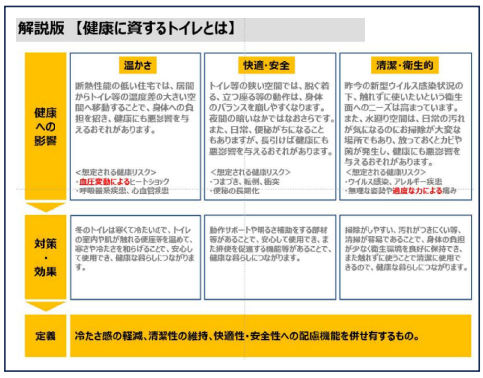
一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

❼健康設備の基準の評価づくりの推進

・性能リストの作成
　・必須項目と任意項目の区分け
・定義、効果の解説を別途追加へ

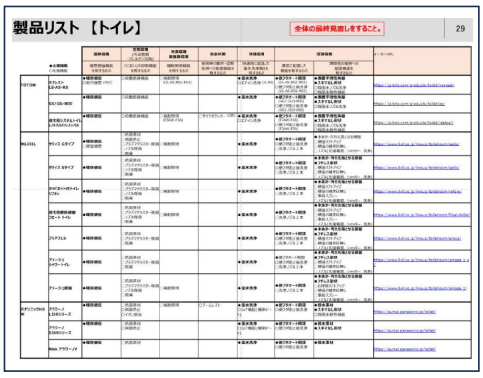
➡3部構成へ
● 定義・効果の解説版（選定のポイント）
● 性能リスト
● おすすめ製品リスト

＜定義・効果の解説版＞



＜性能リスト＞

＜おすすめ製品リスト＞



引き続き、内容の加筆修正を行い

・建材４商材：窓(サッシ)、窓(ガラス)、内窓、断熱材
・設備４商材：トイレ、バスルーム、洗面台、キッチン
の８商材を
建産協の考える『健康に資する建材・設備』としてをまとめました

ホームページ掲載

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

＜選定のポイント＞ ＜性能リスト＞ ＜おすすめ製品リスト＞の
3部構成を基本として内容の作成をすすめ、6月11日、
『健康に資する建材・設備』第一弾として、
建産協ホームページに掲載しました

https://www.kensankyo.org/

https://www.kensankyo.org/healthmaterial/

部位別に
『健康に資する建材・設備』の
＜選定のポイント＞
＜求められる性能(性能リスト)＞
を記しています。

部位別に
会員メーカーの
＜おすすめ製品リスト＞
を記しています。

＜選定のポイント / 性能リスト＞ 冒頭

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

わたしたちは室内で長い時間を過ごすため、住環境が健康にとって重要な要素であることは明確です。

しかし、建築分野では『健康に資する住宅』の定義が明確になっておらず、必要な建材や設備の選び方もまだ確立されていません。

この基準を作り上げることは、健康な社会を実現するために貢献できる可能性があると考え、この資料を作成しました。

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会（建産協）について
わたしたちは、建材・住宅設備メーカーと、各種団体組織により構成されている団体です。
これからの日本の住環境におすすめできる商品のご提案をしたいと考えております。

※この資料内の製品リストは、制度検討部会の委員企業を中心に、木造戸建住宅向けとして記載しています。

『健康に資する住宅』とは？

住む人の健康の維持を図り、快適な居住環境を提供するよう設計・施工された住宅

以下に、『健康に資する住宅』を構成する要素を記しています。

『健康に資する住宅』の要素

健康に資する住宅を、7つの環境要素でとらえ、
建材・設備も、それら環境要素を軸に、
「健康に資する偏在・設備」に必要な要素につなげていく

＜選定のポイント / 性能リスト＞ 冒頭

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

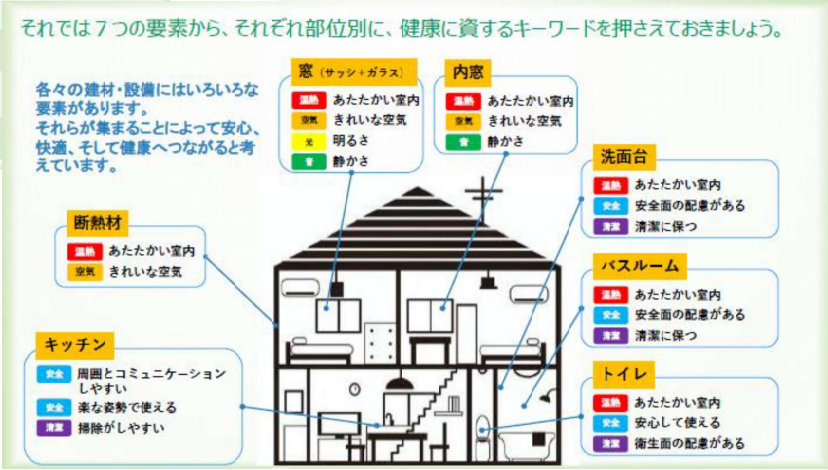
●住宅を構成する部位である、建材/設備についてみていきましょう。

『健康に資する建材/設備』とは？
以下の７つの要素において一定水準以上の性能を持つものとしています。

『健康に資する建材・設備』の要素		
温熱	温熱環境	快適な室内温度を維持できる断熱性能/遮熱性能があること
空気	空気環境	きれいな空気品質に影響しない素材であること
光	光・視環境	自然光の積極的活用や眩しさに配慮されていること
音	音環境	静かな住空間となる遮音性能があること
安全	安全対策	身体負荷軽減の配慮がなされていること
快適	快適環境	心地よさ・安らぎを実現できる機能があること
清潔	清潔環境	衛生的な状態を維持できる形状・素材・機能があること

7つの環境要素から、「健康に資する建材・設備」に必要なものを健康ファクターとし、それらに求められる性能を定義していく

8つの部位(建材4、設備4)に、健康に資するキーワードを付けて、選定のポイント、性能リストの基にしていく



＜選定のポイント＞ 窓(サッシ)の事例

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

健康に資する窓(サッシ) ＜選定のポイント＞

各部位の健康に資するキーワードをもとに、選定のポイントを示している

健康への影響	室温が低いと生活空間の快適さを阻害し、心血管疾患、呼吸系疾患などの健康リスクが高くなります。また起床時に血圧が高くなる傾向があります。	空気中に浮遊するアレルゲンを体内に取り込むことで、アレルギー症状がみられる場合があります。例えば窓ガラスの結露現象によりカビが発生しやすくなり、アレルゲンとなる場合があります。	窓からの光を積極的に取り入れることは、居住者へ開放感を与え、リラックス・リフレッシュ効果があります。また、静かな寝室は睡眠の質をおおきく向上させることができます。
健康に資するキーワード	温熱 あたたかい室内	空気 きれいな空気	光 音 明るさ、静かさ
選定のポイント	冬でも温度差の少ない室内を実現するために、断熱性能の高い製品を選びましょう。	結露を抑制し清潔さを保つために、断熱性能の高い製品を選びましょう。	窓の設置場所や大きさを考慮し、遮音性能の高い製品を選びましょう。

＜性能リスト＞ 窓(サッシ)の事例

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

健康に資する窓(サッシ) ＜性能リスト＞

建材は、性能基準を中心に、
水廻り設備は製品機能を中心に、
健康に資する設備の基準にあてはめる

＜求められる性能＞
室内の温熱環境を保持でき、カビ・ダニ等のアレルゲンの発生を抑え、新鮮な空気の入れ替えや、静かでやすらげる居住空間を実現できるもの。

要素	温熱	空気	音
キーワード	あたたかい室内	きれいな空気	静かさ
仕様・性能・機能	ZEH基準熱貫流率（6地域2.33以下） 【断熱性能】JIS A4706（H5等級） 【気密性能】JIS A4706（A4等級）	ZEH基準熱貫流率（6地域2.33以下） 【断熱性能】JIS A4706（H5等級） 【気密性能】JIS A4706（A4等級） 換気ができる開閉機能	【遮音性能】 ・JIS A4706（T2等級）

必須
任意

各部位の健康に資するキーワードを中心に、
健康に資する基準をあてはめる

＜選定のポイント＞ トイレの事例

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

健康に資するトイレ ＜選定のポイント＞

健康への影響	あたたかい居間・寝室から、トイレに移動する際に室温の差が大きいと、身体への負担がかかります。 ＜想定される健康リスク＞ ・血圧変動によるヒートショック ・呼吸器系疾患、心血管疾患	トイレは、着脱衣、排泄等の行為を行うため、身体のバランスを崩しやすくなります。 夜間や眼鏡等を外した状態で使用する際は、より顕著となります。 ＜想定される健康リスク＞ ・つまづき、転倒、衝突	トイレは、居住者全員が毎日、共用して、排泄等を行うため、清潔で衛生的な空間の維持が重要です。 また、掃除が容易に行えるか否かも重要となります。 ＜想定される健康リスク＞ ・アレルギー疾患、呼吸器系疾患 ・無理な姿勢や過度な力による痛み
健康に資するキーワード	温熱 あたたかい室内	安全 安心して使える	清潔 衛生面への配慮がある
選定のポイント	冬はトイレをあたたかくしましょう。暖房機能のある温水洗浄便座はリラックス効果も期待できます。	手すりの取り付けなど、転倒やケガのリスクを減らすためのバリアフリー設備も重要です。	自動洗浄や消臭効果により、衛生環境を保つことは、健康サポートにつながります。

＜性能リスト＞ トイレの事例

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

建材は、性能基準を中心に、
水廻り設備は製品機能を中心に、
健康に資する設備の基準にあてはめる

健康に資するトイレ ＜性能リスト＞

＜求められる性能＞
冷たさ感の軽減、清潔性の維持、快適性・安全性への配慮機能を併せ有するもの。

要素	温熱	空気	光	安全	快適	清潔
キーワード	あたたかい室内			安心して使える		衛生面の配慮がある
仕様・性能・機能	**暖房便座** ・着座時冷たさ感の軽減 **(暖房機器を室内に置く)** ・ヒートショックの軽減	**脱臭機能** ・トイレ空間の空気環境の快適性維持	**補助照明機能** ・夜間使用時等の眩しさ、躓きを抑制	**手すり** ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上	**温水洗浄機能(洗浄モード選択機能)** ・使用時の快適性の向上	**便フタオート開閉** ・非接触操作で清潔 **清掃しやすい形状** ・清掃容易、家事負担軽減 **便フタ閉止後洗浄** ・非接触操作、飛散防止で清潔 **除菌水散布機能** ・汚れがつきにくく清掃容易、家事負担軽減

必須
任意

求められる性能は、必須事項(各メーカー共通であるもの)と、任意事項(各メーカー独自のもの)に分けている

＜選定のポイント / 性能リスト＞

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

そのほかにも、選定のポイント/性能リストは全体として

■建材：4商材
- **窓(サッシ)**
- **窓(ガラス)**
- **内窓**
- **断熱材**

■設備：4商材
- **トイレ**
- **バスルーム**
- **洗面**
- **キッチン**

計　8商材　を
建産協の考える『健康に資する建材・設備』の
選定のポイント / 性能リストとして、
ホームページに掲載しています。

＜製品リスト＞ 冒頭

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

・**建材は、性能基準を中心**に、有する製品をリスト化
・**水廻り設備**は、数値で示す性能基準があまりないため、**製品機能を中心**に、有する製品をリスト化

掲載しているのは
・建材4商材：窓(サッシ)、窓(ガラス)、内窓、断熱材
・設備4商材：トイレ、バスルーム、洗面台、キッチン
計8商材で、当協会の会員メーカー15社の製品

建材編　INDEX

・おすすめ製品リストは2024年6月1日現在のものです。
・改良のため予告なく製品の仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

開口部	サッシ	3社 33製品	三協立山株式会社　三協アルミ社
			株式会社LIXIL
			ＹＫＫ ＡＰ株式会社
	ガラス	3社 23製品	ＡＧＣ株式会社
			セントラル硝子プロダクツ株式会社
			日本板硝子株式会社
	内窓	4社 6製品	ＡＧＣ株式会社
			三協立山株式会社　三協アルミ社
			株式会社LIXIL
			ＹＫＫ ＡＰ株式会社
断熱材 6社 27製品	グラスウール		旭ファイバーグラス株式会社
			パラマウント硝子工業株式会社
			マグ・イゾベール株式会社
	押出法ポリスチレンフォーム		デュポン・スタイロ株式会社
	フェノールフォーム		旭化成建材株式会社
			フクビ化学工業株式会社

設備編　INDEX

・おすすめ製品リストは2024年6月1日現在のものです。
・改良のため予告なく製品の仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

水廻り設備	トイレ	3社 14製品	ＴＯＴＯ株式会社
			パナソニック　ハウジングソリューションズ株式会社
			株式会社LIXIL
	バスルーム	3社 7製品	ＴＯＴＯ株式会社
			パナソニック　ハウジングソリューションズ株式会社
			株式会社LIXIL
	洗面	3社 9製品	ＴＯＴＯ株式会社
			パナソニック　ハウジングソリューションズ株式会社
			株式会社LIXIL
	キッチン	3社 7製品	ＴＯＴＯ株式会社
			パナソニック　ハウジングソリューションズ株式会社
			株式会社LIXIL

＜製品リスト＞ 窓(サッシ)の事例

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

会員メーカー3社【33製品を掲載】
三協立山株式会社 三協アルミ社（本頁事例）
株式会社LIXIL
YKK AP株式会社

三協立山株式会社　三協アルミ社
https://alumi.st-grp.co.jp/

URL、QRコードから
該当メーカーのカタログにリンク

断熱等級5仕様基準（ZEH基準相当）

●＝健康に資する建材として必須条件のもの　○＝製品の組み合わせなどにより任意選択できるもの

地域区分	開口部の熱還流率 U [W/(㎡・K)]	製品名	ガラス仕様 ①ガラスメーカー・製品名 ②ガラス構成 ③ガラス中央部熱貫流率[W/(㎡・K)] ※一部代表例	温熱環境 [断熱性] JIS H-5 [気密性] JIS A-4	空気環境 [断熱性] JIS H-5 [気密性] JIS A-4	音環境 [遮音性] JIS T-2	特記事項
1地域～3地域	1.9	樹脂窓　トリプルスマージュⅡ	② ダブルLow-E三層複層ガラス（G7以上）	●	●	●	
		樹脂窓　スマージュⅡ	③ 1.5以下	●	●	●	
		樹脂窓　トリプルアルペンⅡx	② ダブルLow-E三層複層ガラス（G7以上）	●	●	●	
		樹脂窓　アルペンⅡs	③ 1.4以下	●	●	●	
		アルミ樹脂複合サッシ　アルジオ	③ 1.4以下	●	●	●	
4地域～7地域	2.3	樹脂窓　トリプルスマージュⅡ	② ダブルLow-E三層複層ガラス（G7以上）	●	●	●	
		樹脂窓　スマージュⅡ	③ 1.5以下	●	●	●	
		樹脂窓　トリプルアルペンⅡx	② ダブルLow-E三層複層ガラス（G7以上）	●	●	●	
		樹脂窓　アルペンⅡs	③ 1.6以下	●	●	●	
		アルミ樹脂複合サッシ　アルジオ	③ 1.6以下	●	●	●	
		アルミ樹脂複合サッシ　防火窓アルジオ	③ 1.4以下	●	●	●	
		アルミ樹脂複合サッシ　マディオJ	③ 1.6以下	●	●	●	
		アルミ樹脂複合サッシ　マディオM	③ 1.6以下	●	●	●	
		防火サッシF型　アルミ樹脂複合タイプ	③ 1.3以下	●	●	●	

会員メーカー4社【6製品を掲載】
AGC株式会社
三協立山株式会社 三協アルミ社
株式会社LIXIL（本頁の事例）
YKK AP株式会社

＜製品リスト＞ 内窓の事例

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

株式会社LIXIL
https://www.lixil.co.jp/lineup/window/inplus/

子育てエコホーム支援事業 ZEHレベル（戸建）

●＝健康に資する建材として必須条件のもの ○＝製品の組み合わせなどにより任意選択できるもの

地域区分	改修後の開口部の熱貫流率 U [W/(㎡・K)]	製品名	窓種	ガラス種	温熱環境 既設外窓と内窓の間の空気層の確保ができること	空気環境 断熱性能の高い素材の枠・障子を採用していること	音環境 遮音性能の高いガラスとの組み合わせができること	特記事項
1地域～3地域	1.9	インプラス	引違い窓 開き窓 テラスドア	真空ガラス	●	●	○	※発注の際にはガラス性能要件に適合しているか、サッシメーカー様またはガラス取扱い業者様へご確認をお願いいたします。 ※この表の熱貫流率は(一社)日本サッシ協会の技術情報20-1101「二重窓の熱貫流率について」に示された下記の構成の値を用いています。 開口部の構成 【既設開口部】 金属製・単板ガラス 【内窓】 樹脂製・複層ガラス
				LowE複層（アルゴンガス入り）	●	●	○	
				LowE複層	●	●	○	
				複層	×	×	○	
				単板	×	×	○	
			FIX窓	真空ガラス	●	●	○	
				LowE複層（アルゴンガス入り）	●	●	○	
				LowE複層	●	●	○	
				複層	●	●	○	
				単板	×	×	○	
		インプラス for Renovation	引違い窓	LowE複層（アルゴンガス入り）	●	●	○	
				LowE複層	●	●	○	
				複層（アルゴンガス入り）	●	●	○	
				単板	●	●	○	
4地域～7地域	2.3	インプラス	引違い窓 開き窓 テラスドア	真空ガラス	●	●	○	
				LowE複層（アルゴンガス入り）	●	●	○	
				LowE複層	●	●	○	
				複層	●	●	○	
				単板	×	×	○	
			FIX窓	真空ガラス	●	●	○	
				LowE複層（アルゴンガス入り）	●	●	○	
				LowE複層	●	●	○	
				複層	●	●	○	
				単板	×	×	○	
		インプラス for Renovation	引違い窓	LowE複層（アルゴンガス入り）	●	●	○	
				LowE複層	●	●	○	
				複層	●	●	○	

内窓の3つの健康ファクターに求められる性能を有しているか、製品別にリスト化

会員メーカー3社【14製品を掲載】
TOTO株式会社（本頁の事例）
パナソニックハウジングソリューションズ株式会社
株式会社LIXIL

＜製品リスト＞ トイレの事例

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

●必須
○任意

		温熱環境 快適な温度の維持、冷たさ感の軽減	空気環境 良質な空気の確保、においの抑制	光・視環境 音振動環境 眩しさへの配慮、静かな空間の実現	安全対策 身体負荷軽減の配慮	快適環境 心地よさ・安らぎの追求	清潔環境 衛生的な状態の維持（清潔・清掃性への配慮）	製品URL
TOTO例	ネオレスト LS・AS・RS	＜暖房便座＞ ●暖房便座 [RS] ●瞬間暖房便座 [LS, AS] ＜快適な温度の維持＞ ○室内暖房 [AS2]	＜脱臭機能＞ ○オートパワー脱臭 ○除菌水脱臭機能 [LS2, AS2]	＜光・視環境への配慮＞ ○補助照明機能 [LS, AS, RS2, RS3]		＜温水洗浄機能＞ ●エアインワンーウェーブ洗浄 [LS, AS] ＜快適性等への配慮＞ ○温風乾燥 [LS, AS, RS3]	＜清掃性への配慮＞ ●セフィオンテクト便器[表面が平滑な便器] ●フチなし便器 ○フチなしウォシュレット [LS, AS] ○お掃除リフト ○便器内除菌水噴霧機能 [LS, AS, RS3] ○便座裏除菌水噴霧機能 [LS2, AS2] ○プレミスト ○除菌水ノズル洗浄 ○抗菌樹脂 ＜清潔性への配慮＞ ●オート便ふた開閉 [LS, AS, RS2, RS3] ○オート便器洗浄 ○便フタ閉止後洗浄 [LS, AS, RS2, RS3]	https://jp.toto.com/products/toilet/neorest/
	GG/GG-800	＜暖房便座＞ ●暖房便座	＜脱臭機能＞ ○オートパワー脱臭			＜温水洗浄機能＞ ●やわらか洗浄 ＜快適性等への配慮＞ ○温風乾燥 [GG3, GG2, GG3-800, GG2-800]	＜清掃性への配慮＞ ●セフィオンテクト便器[表面が平滑な便器] ●フチなし便器 ○クリーン便座 ○プレミスト ○除菌水ノズル洗浄 ○抗菌樹脂 ＜清潔性への配慮＞ ●オート便ふた開閉 [GG3, GG3-800] ○オート便器洗浄 ○便フタ閉止後洗浄 [GG3, GG3-800]	https://jp.toto.com/products/toilet/gg/
	住宅用システムトイレ レストパルF/レストパル	＜暖房便座＞ ●ダブル保温便座 ●瞬間暖房便座 [F4A]	＜脱臭機能＞ ○オートパワー脱臭 ○除菌水脱臭 [F4A, F3A]	＜光・視環境への配慮＞ ○補助照明機能 [F3AW, F3A] ○やわらかフロアライト [レストパルF]	＜身体負荷軽減の配慮＞ ○サイドカウンター [L型] ○手すり [OP]	＜温水洗浄機能＞ ●エアインワンーウェーブ洗浄 ＜快適性等への配慮＞ ○温風乾燥 [F4A, F3A, F2A]	＜清掃性への配慮＞ ●セフィオンテクト便器[表面が平滑な便器] ●フチなし便器 ○フチなしウォシュレット ○便器内除菌水噴霧機能 ○便座裏除菌水噴霧機能 [F4A] ○プレミスト ○除菌水ノズル洗浄 ○抗菌樹脂 ＜清潔性への配慮＞ ●オート便ふた開閉 [F4A, F3A] ○オート便器洗浄 ○便フタ閉止後洗浄 [F4A, F3A]	https://jp.toto.com/products/toilet/restpal/

6つの健康ファクターごとに、トイレで求められる性能に対して、製品別にどのような基準・規格・機能を備えているのかをリスト化

URL、QRコードから該当製品のカタログにリンク

＜製品リスト＞ バスルームの事例

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

会員メーカー3社【7製品を掲載】
TOTO株式会社
パナソニックハウジングソリューションズ株式会社（本頁事例）
株式会社LIXIL

●必須
○任意

		温熱環境	空気環境	光・視環境 音振動環境	安全対策	快適環境	清潔環境	製品URL
		適な温度の維持、 さ感の軽減	良質な空気の確保、 においの抑制	眩しさへの配慮、 静かな空間の実現	身体負荷軽減の配慮	心地よき・安らぎの追求	衛生的な状態の維持 （清潔・清掃性への配慮）	
	Lクラス	<快適な温度の維持> ●暖房換気乾燥機 <冷たさ感の軽減> ○床暖房	<脱臭機能> ○ナノイーイオン付 暖房換気乾燥機	<光・視環境への配慮> ○調光調色照明	<身体負荷軽減の配慮> ●すべりにくい床 ●手すり、握りバー ○座って浴びられるシャワー ○プッシュ水栓	<快適性等への配慮> ○ジェット噴流機能 ○気泡放出機能 ○オーバーヘッドシャワー ○エステケアシャワー ○ミスト付暖房換気乾燥機	<清潔・清掃性への配慮> ●汚れが落としやすく乾きやすい床 ●清掃しやすい排水口 ○汚れが付きにくく落としやすい浴槽 ○清掃しやすいカウンター	https://sumai.panasonic.jp/bathroom/l-cass/
パナソニックHS㈱	ビバス BEVAS	<快適な温度の維持> ●暖房換気乾燥機 <冷たさ感の軽減> ○床暖房	<脱臭機能> ○ナノイーイオン付 暖房換気乾燥機	<光・視環境への配慮> ○調光調色照明	<身体負荷軽減の配慮> ●すべりにくい床 ●手すり、握りバー ○座って浴びられるシャワー	<快適性等への配慮> ○気泡放出機能 ○エステケアシャワー ○ミスト付暖房換気乾燥機	<清潔・清掃性への配慮> ●汚れが落としやすく乾きやすい床 ●清掃しやすい排水口 ○汚れが付きにくく落としやすい浴槽 ○清掃しやすいカウンター	https://sumai.panasonic.jp/bathroom/bevas/
		機能>	イーイオン付 換気乾燥機	<光・視環境への配慮> ○調光調色照明	<身体負荷軽減の配慮> ●すべりにくい床 ●手すり、握りバー	<快適性等への配慮> ○気泡放出機能 ○エステケアシャワー ○ミスト付暖房換気乾燥機	<清潔・清掃性への配慮> ●汚れが落としやすく乾きやすい床 ●清掃しやすい排水口 ○汚れが付きにくく落としやすい浴槽 ○清掃しやすいカウンター	https://sumai.panasonic.jp/bathroom/ofbra/

健康に資するバスルーム ＜性能リスト＞

＜求められる性能＞
ヒートショック軽減、清潔性の維持、快適性・安全性への配慮機能を併せ有するもの。

要素	温熱	空気	光	安全	快適	清潔
キーワード	あたたかい室内			安全面の配慮がある		清潔に保つ
仕様・性能・機能	暖房機能(暖房乾燥機など) ・ヒートショックの軽減 つめたくない床 ・ヒートショックの軽減			手すり(握りバー、グリップなど) ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上 すべりにくい床 ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上	水流機能(ジェット噴流、気泡放出、オーバーヘッドシャワーなど) ・使用時の快適性の向上(癒し、楽しい、爽快感) ミスト付き暖房換気乾燥機 ・使用時の快適性の向上(癒し、楽しい、爽快感)	清掃しやすい排水口 ・清掃容易、家事負担軽減 汚れが落としやすい床 ・清掃容易、家事負担軽減 除菌水散布機能 ・汚れがつきにくく(清掃容易、家事負担軽減
必須						
任意						

性能リストで必須/任意にあげた、バスルームに求められる性能に対して、製品別にどのような基準・規格・機能を備えているのかをリスト化

＜製品リスト＞

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

そのほかにも、製品リストは全体として

■建材：4商材
- **窓(サッシ)　3社 33製品**
- **窓(ガラス)　3社 23製品**
- **内窓　4社 6製品**
- **断熱材　6社 27製品**

■設備：4商材
- **トイレ　3社 14製品**
- **バスルーム　3社 7製品**
- **洗面　3社 9製品**
- **キッチン　3社 7製品**

計　8商材 15社　126製品　を
建産協の考える『健康に資する建材・設備』の
おすすめ製品として、ホームページに掲載しています。

今後の計画

■『健康に資する建材・設備』の普及啓発
- ・HP以外の普及啓発ツールの活用の推進
- ・当協会内の他の部会との連携
- ・団体協会様との連携

■『健康に資する建材・設備』の内容更新
- ・掲載商材の追加、拡充
  - ・商材の追加、製品の拡充
  - ・建材、設備以外の部位の追加(たとえば内装機能材など)
- ・掲載内容の更新、見直し

➡ 第2弾、第3弾の展開へ
掲載内容の充実を目指し
団体協会様、会員メーカー様とのいっそうの連携を
すすめてまいりたいと考えております。

本日はありがとうございました。 今後とも宜しくお願い申し上げます。